

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号: 8169

件 名	海老名駅東口第2有料自転車駐車場ラック改修工事	
履行場所	海老名市 中央三丁目 地内	
工 期	令和8年11月24日～令和9年2月19日(88日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり ○週休2日制確保工事(現場閉所)の対象案件	
予定価格	8,558,000 円 (税込)	7,780,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) ※本案件は、スクラップ費を一般管理費に含めて最低制限価格を算出しています。 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	010 土木一式 経審 - 点以上 - 点未満		○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円（建築一式工事の場合は8千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分		第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く		
	落札件数制限	あり （第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。		
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し <u>※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> （2） <u>（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3） <u>（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>		
落札候補者が提出する書類		開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。)		

(FAX046-232-6574)	○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類
-------------------	---------------------------------

案 内 図
海老名市 中央三丁目 地内



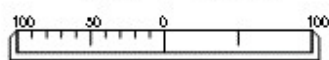
海老名駅

県道40号

施工箇所
海老名駅東口第2有料自転車駐車場

海老名市役所

縮尺 1 : 5000



工 事 説 明 書

(特 記 仕 様 書)

工事件名 : 海老名駅東口第2有料自転車駐車場ラック改修工事
公園名称 : 海老名駅東口第2有料自転車駐車場
工事場所 : 海老名市 中央三丁目 地内

1. 目 的

- 駐車場施設の適切な維持管理を行い、駐車場利用者への利便性の向上を図るため。

2. 工事概要

1 撤 去 工	1.0式	4 施 設 工	1.0式
2 土 工	1.0式	5 仮 設 工	1.0式
3 舗 装 工	1.0式		

3. 仕 様(施工管理)

- 本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び海老名市土木工事施工管理基準に基づき施工すること。
- 型枠材料については、熱帯雨林材の使用を避けること。
- 海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し提出すること。
- 設計計画高等、必要段階においては監督員に立会いを求め、承認の上施工を実施するものとし、事前に段階確認予定を定め施工計画書に明記すること。
- 本工事請負業者は、再生砂(RC-10)を使用する場合、製造者側から試験結果報告書を手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けること。

4. 工程管理

○ 契約工期

令和8年11月24日 ～ 令和9年2月19日

- 詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

5. 安全対策

- 道路使用許可条件(交通管理、施工時間等)を遵守すること。

尚、利用者の安全上やむを得ず施工時間が許可範囲を超えてしまう場合は、監督員に連絡するとともに、交通管理者に連絡をする事。

- 工事区域の安全対策を十分に施し、公園管理者、公園利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。

- 特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないよう、安全対策(安全柵・チューブライト等により)を行うこと。

※特に夜間の安全管理については、留意すること。

- 工事休工中等、現場での作業を行なわない場合は、建設機械、使用材料等を道路に放置しないこと。

- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

6. 仮設備関係

- 仮設備(現場事務所等)の建設は、位置、規模等について監督員の承諾を得ること。

- 工事用電力、用排水、水道、仮設駐車場等は、請負業者の負担とする。

7. 道路関係

- 一般道路を工事用資器材等の搬入に使用場合は、搬入経路・使用期間等を明確にすること。

- 一般道路を占有する場合は、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。

- 工事車両については、速やかに工事エリア内に誘導し、道路上では工事車両を待機させず、一般車両の通行を妨げることがないようにすること。

- 詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

8. 建設副産物関係

- 建設副産物の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。

- また、この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年法律第48号)の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。

9. 海老名環境マネジメントシステム関係

- 本工事は、海老名環境マネジメントシステム公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、下表の事項に留意し施工すること。

適用工事件名	海老名駅東口第2有料自転車駐車場ラック改修工事
作業	配慮事項
掘削	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
排出土処理	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する。
埋戻し(盛土)	現場内排出土及び再生砕石を使用する。
コンクリート	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理)
取壊し	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
アスファルト	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理)
取壊し	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
構造物	基礎材は、再生砕石を使用する。
路盤工	路盤材は再生材(RC-10・RC-40)を使用する。
舗装工 (車道及び歩道)	歩道は、透水性舗装に努め、舗装材にはリサイクル材を採用する。
工事作業機械 車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

10. その他

- 工事に際し、現場代理人及び主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人においては、作業中現場に常駐すること。
又、主任技術者は、施工計画書を作成し、事前に監督員の承諾を得ること。
尚、本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画も作成し明記すること。
- 事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。
尚、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。
- 工事に際し、事前に関係者へ十分な周知を図るとともに、民地内に立ち入る場合、やむを得ず民地内に工事材料等を存置する場合は、必ず所有者の了解を得てから実施すること。
- 測量点及び境界点は、工事着手前に点検し、保存の必要があれば確保し、関係者より復元等を求められた場合は、早急に復元すること。
又、工事完了後、道路台帳、用地実測図等に基づき現地に境界点を明示し、監督員と立会いを行うこと。
- 掘削位置直近の構造物(ブロック塀等)は施工前に状態を確認し、必要であれば地権者(所有者等)に立会いを求め、記録し監督員に報告すること。

- 騒音、振動及び粉塵等工事沿線住民に対し不利益になりうることは、工事期間・時間及び施工方法等を十分配慮し、施工に当たること。
- 現場から発生する不要物等が、田畑や宅地等民地部に飛散、流出等しないよう、必要な処置を講じること。
- 請負業者(下請業者含)は、関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち責務を果たすこと。
- 道路占用物件(ライフライン)の移設及び撤去等の調整を関係機関と行い、監督員に報告し、工事を円滑に履行すること。
- 設計図書及び本仕様書に記載されていない事項については、監督職員と協議の上履行すること。
- 本仕様書の他に、『海老名市公共工事共通事項書』も併せて熟読し、本件の施工にあたること。
- 提出書類については海老名市ホームページ内『工事提出書類様式集』を十分把握し、適正に作成すること。
- 工事に際し、防塵対策をしっかりと行うこと。
- 工事中は駐車場利用者等に対し、細心の注意を図りながら施工に努めること。
- 1月初旬までに駐輪ラックが使用可能な状態にすること。詳細については監督員と調整すること。

施工条件明示書（土木工事共通）

1、工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	海老名駅東口第2有料自転車駐車場ラック改修工事		
工事場所	海老名市 中央三丁目 地内		
工事目的	駐車場施設の適切な維持管理を行い、駐車場利用者への利便性の向上を図るため。		
工事概要	工事概要		
	1 撤去工	1.0式	
	2 土工	1.0式	
	3 舗装工	1.0式	
	4 施設工	1.0式	
	5 仮設工	1.0式	
契約工期	令和8年11月24日 から 令和9年2月19日		
事業区分	☐ 補助金事業	☐ 国庫	
		☐ 県費	
	☒ 市単独事業		
設計区分	☒ 単独積算		
	☐ 合算積算		工事
			工事

2、積算諸条件

主たる工種 : 公園工事
施工地域・工事場所区分 : 市街地（DID補正）
契約保証の方法 : 発注者が金銭的保証を必要とする
施工パッケージの使用（一部使用含む） ☒ 有 ☐ 無
週休二日制確保工事 : 現場閉所による週休2日制確保工事

【使用歩掛及び単価等】

☒ 土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	8年	7月
☒ 諸経費率	適用年版：令和	8年	7月
☐ 下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	年版	
☒ 土木工事資材等単価表	適用年版：令和	8年	9月
☒ 刊行物	適用年版：令和	8年	7月
☐ 特別調査	適用年版：令和	年	
☒ 海老名市見積単価等	適用年版：令和	8年度	
☒ その他見積もり	適用年版：令和	8年	9月

3、施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	☒ 無 (他工事件名等) ☐ 有 (工期、内容等)
	2	当工事における施工時期の制約について	☐ 無 (制約を受ける施工内容等) 工事全般 (施工時期等) ☒ 有 駐輪場利用者が少ない12月下旬から1月初旬の間に現場作業を完了させること。詳細については監督員と協議すること。
	3	施工時間について	☒ 昼間施工 (その他特記事項) ☐ 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	☐ 無 (関係機関名) ☒ 有 海老名市道路管理課, 神奈川県農地課
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	☒ 無 (対象内容) ☐ 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
【2】 用地関係	6	設計工程上見込んである休日日数等作業不能日数について	☐ 無 (詳細内容、作業不能日数等) 年末年始(6日) ☒ 有
	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	☒ 無 (用地未取得部分等) ☐ 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	☒ 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) ☐ 有
【3】 公害関係	3	使用後の復旧条件	☒ 無 (復旧内容等) ☐ 有
	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	☐ 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法・振動規制法 ☒ 有 (作業時間と制限内容) 騒音規制法・振動規制法
【4】 安全対策関係	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	☒ 無 (対策内容) ☐ 有
	1	安全施設等の指定について(有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む)	☒ 無 (指定内容) ☐ 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	☐ 無 (対象内容) ☐ 鉄道 ☐ ガス ☒ 電気 ☐ 電話 ☐ 上水道 ☒ 有 ☐ 下水道 ☐ その他()
	3	交通誘導警備員の配置について	☐ 無 (1) 交通誘導員の配置 工事施工中 2名配置(車道規制時は交代要員あり) ☒ 有 (2) 配置期間 現場実施期間

【5】 工事用道路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	☒ 無 (搬入経路・使用期間等の制限) ☐ 有 (搬入中・後の処置)
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	☒ 無 (仮設道路に関する安全施設) ☐ 有 (工事後の措置、維持補修内容)
【6】 建設副産物関係	1	建設発生土が発生する場合について	☐ 無 (建設発生土の処分先) ☒ 有 名称:愛川町田代受入地 住所:神奈川県愛甲郡愛川町1948番 業者:株式会社 織戸組 愛川工場 電話:046-281-1012
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	☐ 無 (対象内容) ☐ コンクリート塊 ☒ アスファルト・コンクリート塊 ☒ 有 ☐ 建設発生木材 ☐ 建設発生木材 (伐木・除根材) ☐ 建設汚泥 ☐ 建設混合廃棄物 ☒ 金属くず ☐ その他 () ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
	※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。		
【7】 工事支障物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	☐ 無 (対象内容) ☒ 電柱 ☐ 上水道 ☐ 下水道 ☐ 電話 ☐ ガス管 ☒ 有 ☐ 架空電線 ☐ 標識・看板 ☒ その他（左岸幹線用水）
【8】 薬液注入関係	1	薬液注入について	☒ 無 (対象内容) 工法区分： 使用材料： ☐ 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：
【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	☒ 無 (品名、数量等) ☐ 有
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	☒ 無 (品名、数量等) ☐ 有
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合	☒ 無 (品名、数量、搬入制限等) ☐ 有
	4	有価物（スクラップ等）処分費を計上している場合について	☐ 無 (品名、数量、搬入制限等) ☒ 有 有価物にかかる処分費については、諸経费率対象外としています。
	5	週休2日制度確保工事試行要領を適用している場合について	☒ 現場閉所による週休2日制確保工事 ☐ 交代制による週休2日制確保工事 ☐ 対象外
	6	駐輪ラックの使用開始時期について	1月初旬までに駐輪ラックが使用可能な状態にすること。 詳細については監督員と調整すること。
	7	左岸幹線用水上部の施工について	本工事は神奈川県農地課が管理する左岸幹線用水上部の施工となるため、神奈川県農地課との協議事項を遵守すること。

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

令和 8 年 度

海老名駅東口第 2 有料自転車駐車場ラック改修工事設計書

番 号	R8-07歩掛 R08-09単価	施 工 年 度	令和 8 年度
名 称	海老名駅東口第2有料自転車駐車場ラック改修工事		
場 所	海老名市中央三丁目地内		
施 工 主	海老名市	概要 1 撤去工…1式（舗装版取り壊し，既設ラック撤去，横断防止柵設置・撤去，歩車道境界ブロック設置・撤去） 2 土工 …1式（床掘，発生土運搬・処分） 3 舗装工…1式（不陸整正工，透水性アスファルト工） 4 施設工…1式（基礎コンクリート工，自転車ラック設置，植栽工） 5 仮設工…1式（交通誘導警備員，仮舗装工）	
設 計 区 分	公園工事		
施 設 名	海老名駅東口第2有料自転車駐車場		
期 間	令和 8年 11月 24日 ～ 令和 9年 2月 19日		
日 数	88 日		
部 課 名	まちづくり部都市施設公園課		
積 算 担 当	施設整備係		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			

内 訳 書

工 事 区 分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
費	公園工事							
		撤去工		式	1			A- 1号内訳書
		土工		式	1			A- 2号内訳書
		舗装工		式	1			A- 3号内訳書
		施設工		式	1			A- 4号内訳書
		仮設工		式	1			A- 5号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする

[illegible][illegible]

間 接 費 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	公園工事	工事日数(内冬日数)	88日/88日	共通仮設費対象外額	
場所区分	市街地(DID補正)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned} \text{共 通 仮 設 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned} \text{現 場 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\ &= \quad \times \quad \% \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\ &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 費 明 細 書

算 出 基 礎

一 般 管 理 費 = 対象額×率+対象額×契約保証補正值－調整額
= × % + × %－
=

対象額 = 工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
= - - +
=

率 = 対象額による率×前払補正
= %×
= %× → ∴ %

対象額による率 = %

A- 1号		撤去工					1式当たり	内訳書
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断		アスファルト舗装版、15cm以下	m	75				施工P-01
		舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下						
舗装版切断濁水処理工		北部地区	式	1				C- 1号単価表
舗装版破碎積込（小規模土工）			m ²	185				施工P-02
土砂等運搬		土砂等発生現場:小規模 積込機種・規格:バックホウ バケット容量0.13m3 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m ³	7.4				施工P-03
		DID区間の有無:有り 運搬距離:5.0km以下						
廃材処理料(北部地区)		A S 殻	m ³	7.4				
既設自転車ラック撤去			台	128				
フェンス撤去		高さ1200～1500mm	m	4				C- 2号単価表
横断・転落防止柵撤去工（プレキャスト C o ブロック建込用）		ビーム式・パネル式 支柱間隔3m	m	6				C- 3号単価表
横断・転落防止柵設置工（プレキャスト C o ブロック建込用）		ビーム式・パネル式 支柱間隔3m	m	6				C- 4号単価表
歩車道境界ブロック撤去		再利用	m	4.2				施工P-04
		再利用区分:再利用						

[illegible]

A-	1号内訳書(施工P-01)	積算単位:m	標準単価:
	舗装版切断／アスファルト舗装版、15cm以下		
	舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下		

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東京)	単	価	摘	要
機械K										14.40							
K 1	コン	クリートカッタ	ハ	キューム式(超低騒音型)	湿式・エンジン駆動／通称(切削深)20cm級ﾌﾟﾚｰﾄﾞ径φ56cm	供/日				9.80							
K 2																	
K 3																	
K 4																	
K 5																	
労務R										58.90							
R 1	特殊	作業員				人				20.20							
R 2	土木	一般世話役				人				10.89							
R 3	普通	作業員				人				9.00							
R 4																	
R 5																	
材料Z										26.70							
Z 1	コン	クリートカッタ(ﾌﾟﾚｰﾄﾞ)	／	径18インチ		枚				22.47							
Z 2	ｶﾞ	ソリン／レｷﾞｬｰ	,ｽﾀﾝﾄﾞ	渡し		ℓ				2.88							
Z 3																	
Z 4																	
Z 5																	
市場S																	

P' =

×

{

(

9.80

100

×

)

×

14.40

9.80

+

(

20.20

100

×

+

10.89

100

×

+

9.00

100

×

)

×

58.90

20.20+10.89+ 9.00

+

(

22.47

100

×

+

2.88

100

×

)

×

26.70

22.47+ 2.88

+

100-14.40-58.90-26.70

100

}

=

A- 1号内訳書(施工P-02)		積算単位: m ²	標準単価:
舗装版破碎積込 (小規模土工)			

名 称		規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				21.20			
	K 1	小型バックホウ(クローラ型) 超低騒音型 排対型(3次基準)／バケット容量0.13m3	供/日	21.20			
	K 2						
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務R				70.89			
	R 1	運転手(特殊)	人	70.89			
	R 2						
	R 3						
	R 4						
	R 5						
材料Z				7.91			
	Z 1	軽 油／パトロール給油	ℓ	7.91			
	Z 2						
	Z 3						
	Z 4						
	Z 5						
市場S							

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{21.20}{100} \times \frac{21.20}{21.20} \right) \times \frac{21.20}{21.20} \right. \\ &+ \left(\frac{70.89}{100} \times \frac{70.89}{70.89} \right) \times \frac{70.89}{70.89} \\ &+ \left(\frac{7.91}{100} \times \frac{7.91}{7.91} \right) \times \frac{7.91}{7.91} \\ &\quad \left. + \frac{100-21.20-70.89-7.91}{100} \right\} = \end{aligned}$$

A- 1号内訳書(施工P-03)		積算単位:m ³	標準単価:
土砂等運搬			
土砂等発生現場:小規模、積込機種・規格:バックホウ バケット容量0.13m ³			
土質:土砂(岩塊・玉石混りを含む)、DID区間の有無:有り、運搬距離:5.0km以下			

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東京)	単	価	摘	要
機械K	K 1	タンポトラック オンロード・ディーゼル／2～3t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費				供	日		19.09								
	K 2																
	K 3																
	K 4																
	K 5																
労務R	R 1	運転手(一般)				人			72.09								
	R 2																
	R 3																
	R 4																
	R 5																
材料Z	Z 1	軽 油／パトロール給油				ℓ			8.82								
	Z 2																
	Z 3																
	Z 4																
	Z 5																
市場S																	

P' =

$$\begin{aligned}
 &\times \left\{ \left(\frac{19.09}{100} \times \frac{19.09}{19.09} \right) \times \frac{19.09}{19.09} \right. \\
 &+ \left(\frac{72.09}{100} \times \frac{72.09}{72.09} \right) \times \frac{72.09}{72.09} \\
 &+ \left(\frac{8.82}{100} \times \frac{8.82}{8.82} \right) \times \frac{8.82}{8.82} \\
 &\quad \left. + \frac{100-19.09-72.09-8.82}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

A- 1号内訳書(施工P-04)		積算単位:m	標準単価:
歩車道境界ブロック撤去／再利用			
再利用区分:再利用			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			3.76			
	K 1 小型バックホ (クローラ、超小旋回型) 賃料 / 山積0.22m ³ (平積0.16m ³) (排出ガス対策型含む)	日	3.76			
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務R			94.75			
	R 1 普通作業員	人	30.18			
	R 2 土木一般世話役	人	18.22			
	R 3 運転手 (特殊)	人	17.15			
	R 4 特殊作業員	人	16.82			
	R 5					
材料Z			1.49			
	Z 1 軽 油 / ハートル給油	ℓ	1.49			
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場S						

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{3.76}{100} \times \frac{3.76}{3.76} \right) \times \frac{3.76}{3.76} \right. \\ &+ \left(\frac{30.18}{100} \times \frac{30.18}{30.18} + \frac{18.22}{100} \times \frac{18.22}{18.22} + \frac{17.15}{100} \times \frac{17.15}{17.15} + \frac{16.82}{100} \times \frac{16.82}{16.82} \right) \times \frac{94.75}{30.18+18.22+17.15+16.82} \\ &+ \left(\frac{1.49}{100} \times \frac{1.49}{1.49} \right) \times \frac{1.49}{1.49} \\ &\left. + \frac{100-3.76-94.75-1.49}{100} \right\} = \end{aligned}$$

A- 1号内訳書(施工P-05)		積算単位:m	標準単価:
歩車道境界ブロック／再利用設置			
作業区分:再利用設置、ブロック規格:C種(180/210×300×600)、基礎碎石規格:無し、均し基礎コンクリート規格:無し			

名 称		規 格	単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K				3.53			
	K 1	バックホ(ローラ、後超小旋回、クレーン機能付)賃料／山積0.09m ³ (平積0.07m ³)0.9t吊(排出ガス対策型含む)	日	3.53			
	K 2						
	K 3						
	K 4						
	K 5						
労務R				95.28			
R 1	特殊作業員		人	37.04			
R 2	普通作業員		人	33.17			
R 3	土木一般世話役		人	20.05			
R 4							
R 5							
材料Z				1.19			
Z 1	軽 油／パトロール給油		ℓ	1.19			
Z 2							
Z 3							
Z 4							
Z 5							
市場S							

P' =

$$\begin{aligned} &\times \left\{ \left(\frac{3.53}{100} \times \frac{3.53}{3.53} \right) \times \frac{3.53}{3.53} \right. \\ &+ \left(\frac{37.04}{100} \times \frac{33.17}{100} \times \frac{20.05}{100} \right) \times \frac{95.28}{37.04+33.17+20.05} \\ &+ \left(\frac{1.19}{100} \times \frac{1.19}{1.19} \right) \times \frac{1.19}{1.19} \\ &\left. + \frac{100-3.53-95.28-1.19}{100} \right\} = \end{aligned}$$

A- 1号内訳書(施工P-06)		積算単位: t	標準単価:
現場発生品及び支給品運搬			
トラック機種:トラッククレーン装置付ベーストラック2t積、吊能力2.9t、DID区間の有無:有り、片道運搬距離(km):5.0km以下			

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械K										13.79					
	K 1	トラック クレーン装置付／通称2t積級吊能力2.9t				供	日			13.79					
	K 2														
	K 3														
	K 4														
	K 5														
労務R										83.40					
	R 1	運転手(特殊)				人				42.15					
	R 2	特殊作業員				人				41.25					
	R 3														
	R 4														
	R 5														
材料Z										2.81					
	Z 1	軽 油／ハ゜トル給油				ℓ				2.81					
	Z 2														
	Z 3														
	Z 4														
	Z 5														
市場S															

P ’ =

$$\times \left\{ \left(\frac{13.79}{100} \times \frac{13.79}{13.79} \right) \times \frac{13.79}{13.79} \right.$$

$$+ \left(\frac{42.15}{100} \times \frac{42.15}{42.15} + \frac{41.25}{100} \times \frac{41.25}{42.15+41.25} \right) \times \frac{83.40}{42.15+41.25}$$

$$+ \left(\frac{2.81}{100} \times \frac{2.81}{2.81} \right) \times \frac{2.81}{2.81}$$

$$\left. + \frac{100-13.79-83.40-2.81}{100} \right\} =$$

[illegible]

A-2号内訳書(施工P-01)

積算単位:m³標準単価:

床掘り／土砂、現場制約あり

土質:土砂、施工方法:現場制約あり

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K						
	K 1					
	K 2					
	K 3					
	K 4					
	K 5					
労務R			100.00			
	R 1 普通作業員	人	100.00			
	R 2					
	R 3					
	R 4					
	R 5					
材料Z						
	Z 1					
	Z 2					
	Z 3					
	Z 4					
	Z 5					
市場S						

P' =

×

{

+

100

100

×

)

×

100

100

+

100

100

}

=

A-	2号内訳書(施工P-02)	積算単位:m ³	標準単価:
	土砂等運搬／現場制約あり、人力、土砂(岩塊・玉石混り土含む)、有り、23.0km以		
	土砂等発生現場:現場制約あり、積込機種・規格:人力、土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)、DID区間の有無:有り、運搬距離:23.0km以下		

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東京)	単	価	摘	要
機械K										19.09							
	K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル／2～3t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費				供	日			19.09							
	K 2																
	K 3																
	K 4																
	K 5																
労務R										72.09							
	R 1	運転手(一般)				人				72.09							
	R 2																
	R 3																
	R 4																
	R 5																
材料Z										8.82							
	Z 1	軽 油／パトロール給油				ℓ				8.82							
	Z 2																
	Z 3																
	Z 4																
	Z 5																
市場S																	

P' =

×
{
(
19.09
100
×

)
×

19.09
19.09

+
(
72.09
100
×

)
×

72.09
72.09

+
(
8.82
100
×

)
×

8.82
8.82

+

100-19.09-72.09- 8.82
100

}
=

[illegible]

A- 3号内訳書(施工P-01)		積算単位: m ²	標準単価:
不陸整正／有り、28mm以上34mm未満			
補足材料の有無:有り、補足材料平均厚さ:28mm以上34mm未満			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価(東京)	単 価	摘 要
機械K			16.48			
K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2014年規制)／プレート幅3.1m	供/日	13.22			
K 2	ロータリー(マダム)賃料／質量 10～12 t (排出ガス対策型含む)	日	1.65			
K 3	タイヤローラ(普通型)賃料／質量 13～14 t (排出ガス対策型含む)	日	1.61			
K 4						
K 5						
労務R			57.95			
R 1	運転手(特殊)	人	28.52			
R 2	普通作業員	人	11.74			
R 3	特殊作業員	人	9.17			
R 4	土木一般世話役	人	8.52			
R 5						
材料Z			25.57			
Z 1	再生粒度調整碎石／RM-40	m ³	20.19			
Z 2	軽 油／ハートル給油	ℓ	5.38			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\times \left\{ \left(\frac{13.22}{100} \times \frac{16.48}{13.22 + 1.65 + 1.61} + \frac{1.65}{100} \times \frac{16.48}{13.22 + 1.65 + 1.61} + \frac{1.61}{100} \times \frac{16.48}{13.22 + 1.65 + 1.61} \right) \right.$$

$$+ \left(\frac{28.52}{100} \times \frac{57.95}{28.52 + 11.74 + 9.17 + 8.52} + \frac{11.74}{100} \times \frac{57.95}{28.52 + 11.74 + 9.17 + 8.52} + \frac{9.17}{100} \times \frac{57.95}{28.52 + 11.74 + 9.17 + 8.52} + \frac{8.52}{100} \times \frac{57.95}{28.52 + 11.74 + 9.17 + 8.52} \right)$$

$$+ \left(\frac{20.19}{100} \times \frac{25.57}{20.19 + 5.38} + \frac{5.38}{100} \times \frac{25.57}{20.19 + 5.38} \right) \times \frac{25.57}{20.19 + 5.38}$$

$$\left. + \frac{100 - 16.48 - 57.95 - 25.57}{100} \right\} =$$

A- 3号内訳書(施工P-02)		積算単位: m ²	標準単価:
透水性アスファルト舗装／1.4m未満、実数入力、開粒度アスコン(13)			入力数量: 40mm
平均幅員:1.4m未満、1層当り平均仕上り厚:実数入力、材料:開粒度アスコン(13)			

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単価(東京)	単	価	摘	要
機械K										0.57					
	K 1	振動ローラ(舗装用)	ハットカイト式	／	運転質量0.5～0.6t		供/日			0.43					
	K 2	振動コンパクタ	前進型	／	通称40～60kg		供/日			0.10					
	K 3														
	K 4														
	K 5														
労務R										59.48					
	R 1	特殊作業員				人				25.21					
	R 2	普通作業員				人				22.56					
	R 3	土木一般世話役				人				6.81					
	R 4														
	R 5														
材料Z										39.95					
	Z 1	アスファルト混合物 (小型車)	／	開粒度アスコン(13)		t				39.67					
	Z 2	ガソリン/レギュラー	スタンダード	渡し		ℓ				0.17					
	Z 3	軽油	／	ハットロール	給油	ℓ				0.09					
	Z 4														
	Z 5														
市場S															

P' =

$$\times \left\{ \left(\frac{0.43}{100} \times \frac{0.57}{0.43+0.10} + \frac{0.10}{100} \times \frac{0.57}{0.43+0.10} \right) \times \frac{0.57}{0.43+0.10} \right.$$

$$+ \left(\frac{25.21}{100} \times \frac{59.48}{25.21+22.56+6.81} + \frac{22.56}{100} \times \frac{59.48}{25.21+22.56+6.81} + \frac{6.81}{100} \times \frac{59.48}{25.21+22.56+6.81} \right) \times \frac{59.48}{25.21+22.56+6.81}$$

$$+ \left(\frac{39.67}{100} \times \frac{39.95}{39.67+0.17+0.09} + \frac{0.17}{100} \times \frac{39.95}{39.67+0.17+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{39.95}{39.67+0.17+0.09} \right) \times \frac{39.95}{39.67+0.17+0.09}$$

$$\left. + \frac{100-0.57-59.48-39.95}{100} \right\} =$$

[illegible]

A-	4号内訳書(施工P-01)	積算単位:m ³	標準単価:
	コンクリート／小型構造物、人力打設、24-12-25(20)(高炉)、一般養生、有り		
	構造物種別:小型構造物、打設工法:人力打設、コンクリート規格:24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:有り		

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東京)	単	価	摘	要
機械K																	
	K 1																
	K 2																
	K 3																
	K 4																
	K 5																
労務R									46.28								
	R 1	普通作業員				人		28.67									
	R 2	土木一般世話役				人		8.36									
	R 3	特殊作業員				人		7.07									
	R 4																
	R 5																
材料Z									53.72								
	Z 1	生コンクリート(高炉セメント)／18-8-25(20), W/C指定無し(小型 4 t 車)				m ³		53.72									
	Z 2																
	Z 3																
	Z 4																
	Z 5																
市場S																	

P' =

× {

+
(

28.67

100

×

+

8.36

100

×

+

7.07

100

×

)
×

46.28

28.67+ 8.36+ 7.07

+
(

53.72

100

×

)
×

53.72

53.72

+

100-46.28-53.72

100

}
=

A- 5号内訳書 (施工P-02)		積算単位: m ²	標準単価:
舗装版破碎／アスファルト舗装版、有り、4cmを超え10cm以下、有り			
舗装版種別:アスファルト舗装版、障害等の有無:有り、舗装版厚:4cmを超え10cm以下、積込作業の有無:有り			

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.69			
K 1	空気圧縮機 (可搬式・エンジン駆動・スクュ型) 賃料／吐出量3.5～3.7m ³ /min (排出ガス対策型含む)	日	1.31			
K 2	さく岩機 コンクリートブレーカ／通称20kg級	供/日	0.38			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			96.02			
R 1	特殊作業員	人	51.93			
R 2	普通作業員	人	44.09			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			2.29			
Z 1	軽 油／ハートル給油	ℓ	2.29			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\times \left\{ \left(\frac{1.31}{100} \times \frac{1.69}{1.31 + 0.38} + \frac{0.38}{100} \times \frac{1.69}{1.31 + 0.38} \right) \times \frac{1.69}{1.31 + 0.38} \right.$$

$$+ \left(\frac{51.93}{100} \times \frac{96.02}{51.93 + 44.09} + \frac{44.09}{100} \times \frac{96.02}{51.93 + 44.09} \right) \times \frac{96.02}{51.93 + 44.09}$$

$$+ \left(\frac{2.29}{100} \times \frac{2.29}{2.29} \right) \times \frac{2.29}{2.29}$$

$$\left. + \frac{100 - 1.69 - 96.02 - 2.29}{100} \right\} =$$

A-	5号内訳書(施工P-03)	積算単位:m ³	標準単価:
	土砂等運搬／現場制約あり、人力、土砂(岩塊・玉石混り土含む)、有り、6.0km以下		
	土砂等発生現場:現場制約あり、積込機種・規格:人力、土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)、DID区間の有無:有り、運搬距離:6.0km以下		

	名	称	／	規	格	単	位	構	成	比	単	価	(東京)	単	価	摘	要
機械K										19.09							
	K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル／2～3t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費				供	日			19.09							
	K 2																
	K 3																
	K 4																
	K 5																
労務R										72.09							
	R 1	運転手(一般)				人				72.09							
	R 2																
	R 3																
	R 4																
	R 5																
材料Z										8.82							
	Z 1	軽 油／パトロール給油				ℓ				8.82							
	Z 2																
	Z 3																
	Z 4																
	Z 5																
市場S																	

P' =

×
{
(
19.09
100
×

)
×

19.09
19.09

+
(
72.09
100
×

)
×

72.09
72.09

+
(
8.82
100
×

)
×

8.82
8.82

+

100-19.09-72.09- 8.82
100

}
=

[illegible]

[illegible]

C-2号	フェンス撤去 高さ1200～1500mm						4m当たり	単価表
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
<支柱撤去>								
普通作業員		人						
<胴縁撤去>								
特殊作業員		人						
普通作業員		人						
<金網撤去>								
特殊作業員		人						
普通作業員		人						
計								
1 m当たり								

[illegible]

C- 5号

1本当たり

单価表

道路植栽工 植樹工(低木)

樹高 60cm未満

[illegible]

C- 6号

1現場当たり

単価表

交通誘導警備員 B

[illegible]

C- 7号

1現場当たり

単価表

交通誘導警備員 B

[illegible]

C- 8号

1台当たり

单価表

一般貨物自動車による運搬費

中型車4tクラス, 距離20km、休日割増無, 深夜・早朝割増無

[illegible]

海老名駅東口第 2 有料自転車駐車場ラック改修工事				材料費 (30)		材料調書全体明細表		
							(単位:円)	
名	称	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
サツキツツジ		樹高30 c m		本	7			
前輪式ラック (DIC-Z)		低床		台	64			
前輪式ラック (DIC-Z)		高床 スロープ付き		台	64			
設置部材費		アンカー、ボルト類		式	1			
生コンクリート(高炉セメント)		18-8-25(20), W/C指定無し(小型 4 t 車)		m ³	2.121			
再生粒度調整砕石		RM-40		m ³	6.456			
アスファルト混合物 (小型車)		開粒度アスコン(13)		t	15.161			
再生アスファルト混合物 (小型車)		再生密粒度アスコン(13)		t	0.339			
ガソリン		レギュラー, スタンド渡し		ℓ	14.871			
軽 油		パトロール給油		ℓ	231.501			
コンクリートカッタ(プレート)		径18インチ		枚	0.182			
材料費計								

[illegible]

海老名駅東口第2有料自転車駐車場ラック改修工事

数 量 計 算 書

数量総括表

種別	規格	数量		単位
		当初	変更	
○撤去工				
舗装版切断	t=4cm	75		m
舗装版濁水処理	t=4cm	1		式
舗装版取壊し	t=4cm	185		m ²
As殻運搬		7.4		m ³
As殻処分		7.4		m ³
既設自転車ラック撤去	処分	128		台
既設ネットフェンス撤去		4		m
既設横断防止柵設置・撤去	再利用	6		m
既設歩車道境界ブロック設置・撤去	再利用	4.2		m
現場発生品運搬	ネットフェンス+既設ラック	1.4		t
スクラップ		1.4		t
○土工				
床掘		1.2		m ³
土砂運搬		1.2		m ³
発生土処分		1.2		m ³
○舗装工				
不陸整正工	t=平均3cm, RM-40	164		m ²
透水性As舗装工	t=4cm, 開粒度	164		m ²
○施設工				
基礎コンクリート工	t=10cm	20		m ²
		2.0		m ³
前輪式ラック (DID-Z)	高床タイプ スロープ付き	64		台
前輪式ラック (DID-Z)	低床タイプ	64		台
設置部材費	アンカー、ボルト類	1		式
前輪式ラック設置工		1		式
資材運搬工		1		式
植栽工	サツキツツジ	7		本
○仮設工				
仮舗装設置工	t=5cm	2.8		m ²
仮舗装撤去工	t=5cm	2.8		m ²
As殻運搬		0.1		m ³
As殻処分		0.1		m ³

撤去工 数量計算書

工 種	計 算 式	数 量	単位
舗装版切断 (t=4cm)	$L = 8.4 + 8.4 =$	16.8	m
舗装版切断 (t=4cm) (基礎コンクリート施工時)	$L = (0.77 + 6.6) \times 2 \times 4 =$	59.0	m
舗装版濁水処理 (t=4cm)		1	式
舗装版取壊し (t=4cm)	$A = 8.4 \times 19.6 + 0.77 \times 6.6 \times 4 =$	185.0	m ²
As殻運搬	$V = 185.0 \times 0.04 =$	7.4	m ³
As殻処分	$V =$	7.4	m ³
既設自転車ラック撤去 (処分)	$N =$	128	台
既設ネットフェンス撤去 (処分)	$L = 4 =$	4.0	m
既設横断防止柵設置・撤去 (再利用)	$L = 6 =$	6.0	m
既設歩車道境界ブロック 設置・撤去(再利用)	$L = 4.2 =$	4.2	m
現場発生品運搬	ネットフェンス+既設自転車ラック	1.44	t
スクラップ	$V = 0.012 \times 4$ $+ 0.349 \times 4$ ※ラック1列0.349トン	1.44	t

土工 数量計算書

工 種	計 算 式	数 量	単位
床掘	$V = 0.77 \times 6.6 \times (0.1 - 0.04) \times 4 =$	1.22	m3
土砂運搬	$V =$	1.22	m3
発生土処分	$V =$	1.22	m3

舗装工 数量計算書

工 種	計 算 式	数 量	単位
不陸整正工 (t=平均3cm)	$A = 8.4 \times 19.6 =$	164.6	m ²
透水性As舗装工 (t=4cm, 開粒度)	$A = 8.4 \times 19.6 =$	164.6	m ²

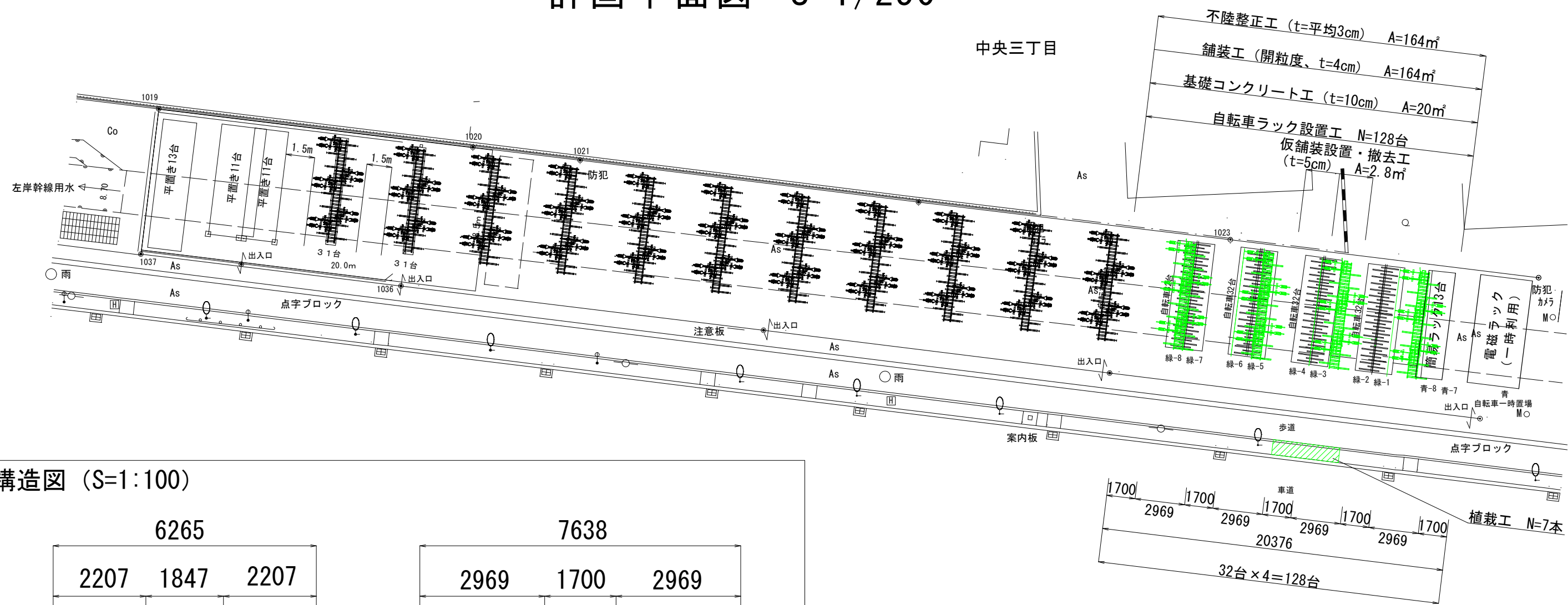
施設工 数量計算書

工 種	計 算 式	数 量	単位
基礎コンクリート工 (W=0.77m L=6.6m t=10cm)	A= 0.77 × 6.6 × 4 =	20.3	m ²
	V= 0.77 × 6.6 × 4 × 0.1 =	2.03	m ³
前輪式ラック (DIC-Z) (高床タイプ スロープ付き)	N= 16 × 4 =	64	台
前輪式ラック (DIC-Z) (低床タイプ)	N= 16 × 4 =	64	台
設置部材費 (アンカー、ボルト類)	N= =	1	式
前輪式ラック設置工	N= =	1	式
資材運搬工	N= =	1	台
植栽工	N= =	7	本

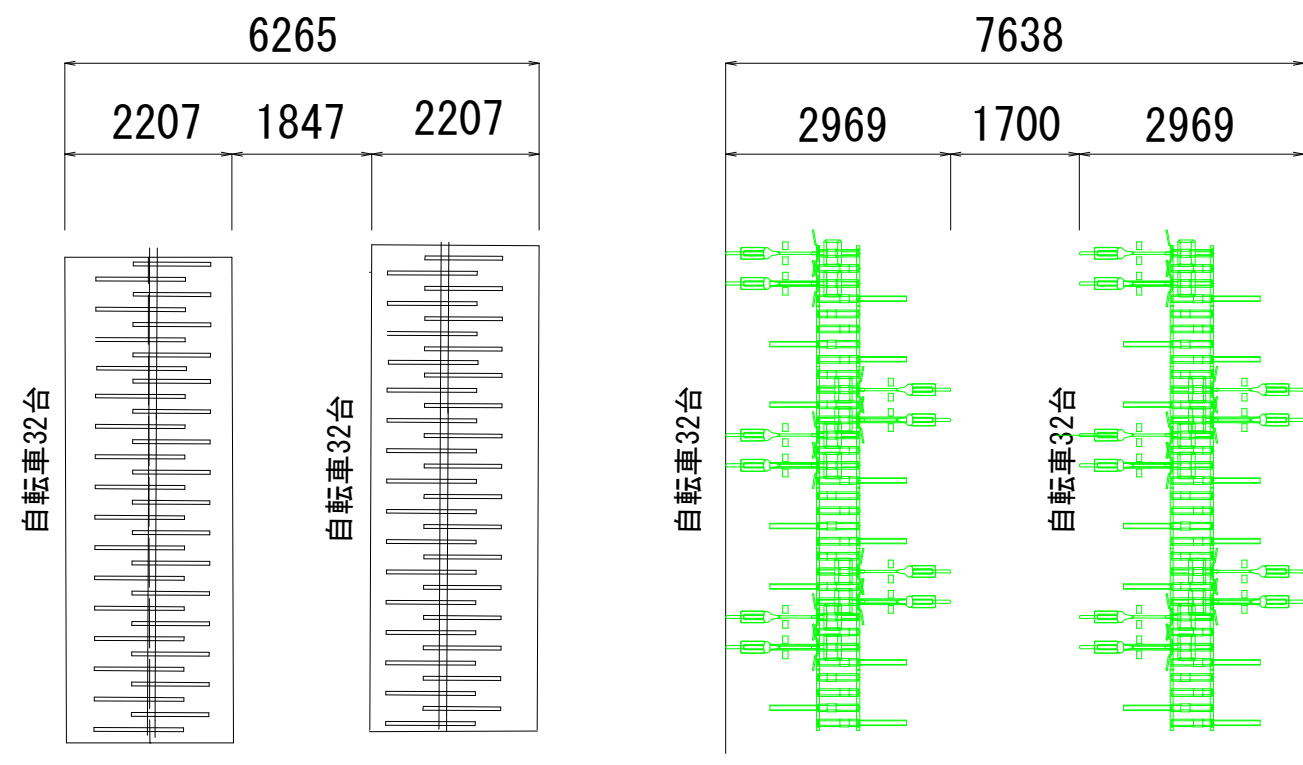
仮設工 数量計算書

工 種	計 算 式	数 量	単位
仮舗装設置工 (t=5cm)	$A = 4 \times 0.7 =$	2.8	m ²
仮舗装撤去工 (t=5cm)	$A = 4 \times 0.7 =$	2.8	m ²
As殻運搬	$V = 2.8 \times 0.05 =$	0.14	m ³
As殻処分	$V =$	0.14	m ³

海老名駅東口第2有料自転車駐車場
海老名市中央三丁目1491番地1先
計画平面図 S=1/250



構造図 (S=1:100)

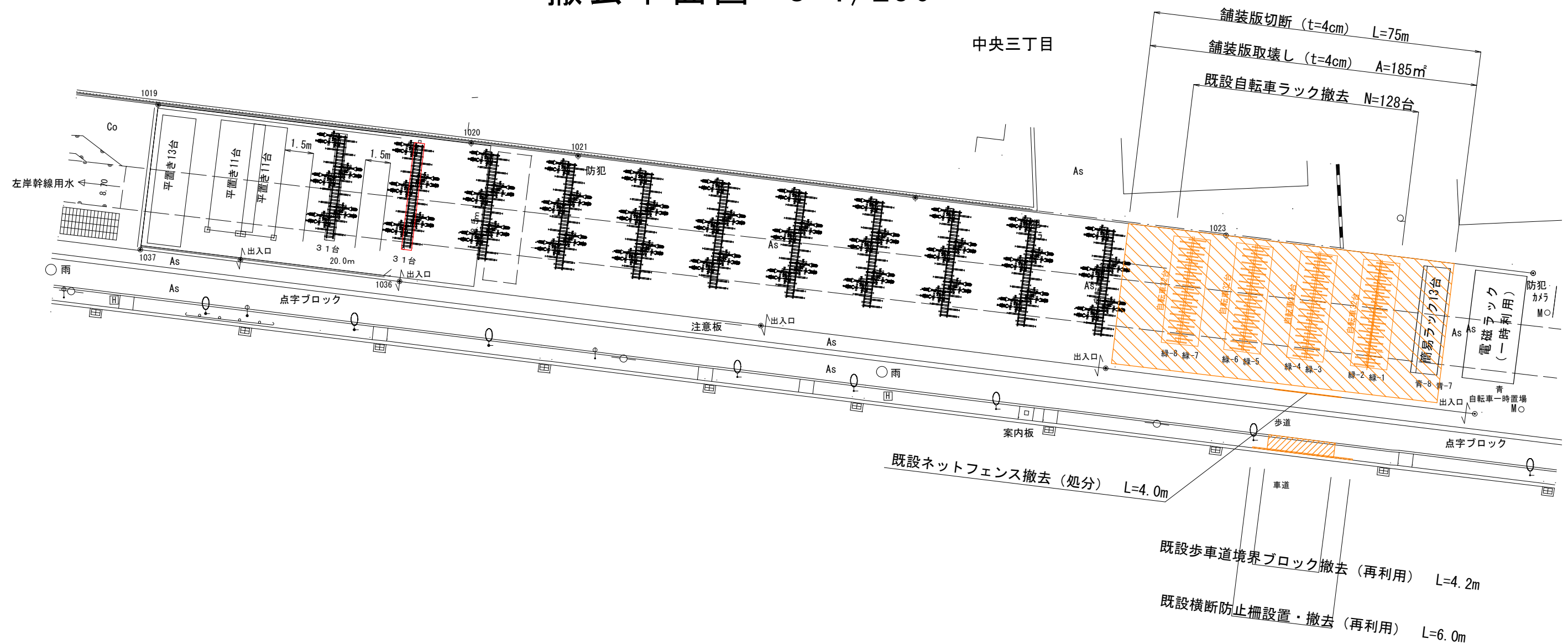


現況

改修後

名 称	海老名駅東口第2有料自転車駐車場ラック改修工事		
所在地	海老名駅東口第2有料自転車駐車場		
図面種別	計 画 平 面 図	縮 尺	1 : 2 5 0
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			

海老名駅東口第2有料自転車駐車場
海老名市中央三丁目1491番地1先
撤去平面図 S=1/250



名 称	海老名駅東口第2有料自転車駐車場ラック改修工事		
所在地	海老名駅東口第2有料自転車駐車場		
図面種別	撤 去 平 面 図	縮 尺	1 : 2 5 0
神 奈 川 県 海 老 名 市 役 所			